

地球温暖化問題に対する
県民・事業者の意識調査結果 報告書

| | | | |
|---|--------------|-----|----|
| 1 | 県民の意識調査実施結果 | ・・・ | 1 |
| 2 | 事業者の意識調査実施結果 | ・・・ | 10 |

平成 26 年 10 月

環境生活部 地球温暖化対策課

県民の意識調査実施結果

I. アンケートの概要

- (1) 実施期間 平成26年6月10日(火)から6月30日(月)まで
- (2) 対象者 e-モニター
- (3) 対象者数 1,181人
- (4) 回答者数 860人
- (5) 回答率 72.8%
- (6) 回答者属性

① 性別

| | 男性 | 女性 |
|------|-------|-------|
| 回答者数 | 462人 | 398人 |
| 構成比 | 53.7% | 46.3% |

② 年齢階層別

| | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 回答者数 | 83人 | 184人 | 208人 | 198人 | 156人 | 31人 |
| 構成比 | 9.7% | 21.4% | 24.1% | 23.0% | 18.1% | 3.6% |

Ⅱ. アンケート結果

1. 地球温暖化問題に対する意識

地球温暖化問題について、83.7%の人が「非常に興味がある」、「興味がある」と回答しており、関心が高いことが伺えます。

日常生活をするうえで地球温暖化の防止についてどのように考えるかにおいては、地球温暖化防止を行うべきと回答している人が、92.5%でした。

そのうち、「今の生活を犠牲にしても」や「今の生活を多少変えてでも」地球温暖化防止を行うべきと64.1%の人が回答しています。

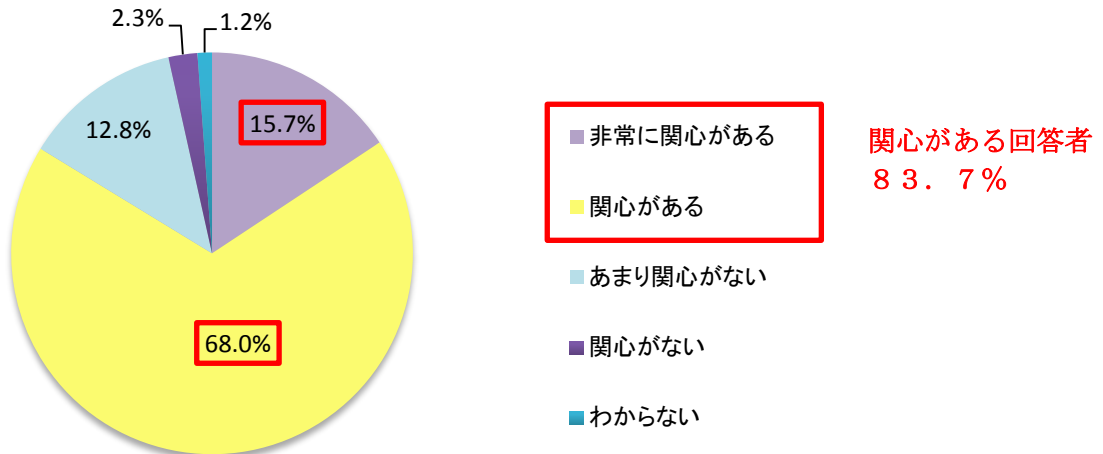


図 地球温暖化問題への関心

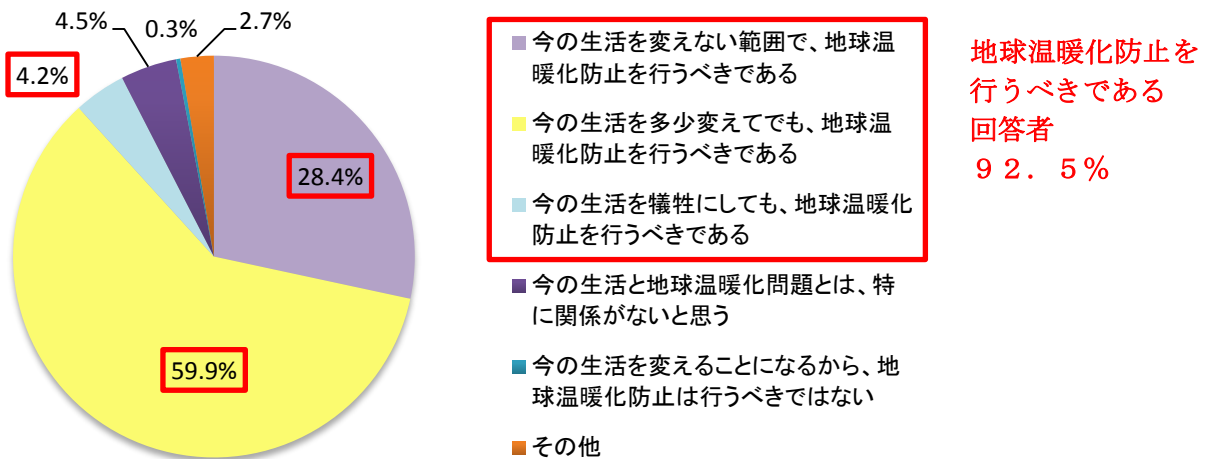


図 日常生活と地球温暖化防止の取組意識

2. 家庭における地球温暖化防止の取組状況

家庭での地球温暖化防止の取組状況については、全9項目の設問で、4項目が70%以上実行している結果でした。

「実行している」と「今後実行したい」を合計した回答率では、7項目が70%以上の結果となり、地球温暖化防止のために、取り組まなければならない意識が高いと伺えます。

一人あたりの地球温暖化防止の取組件数は、4～6項目がもっとも多い結果でした。

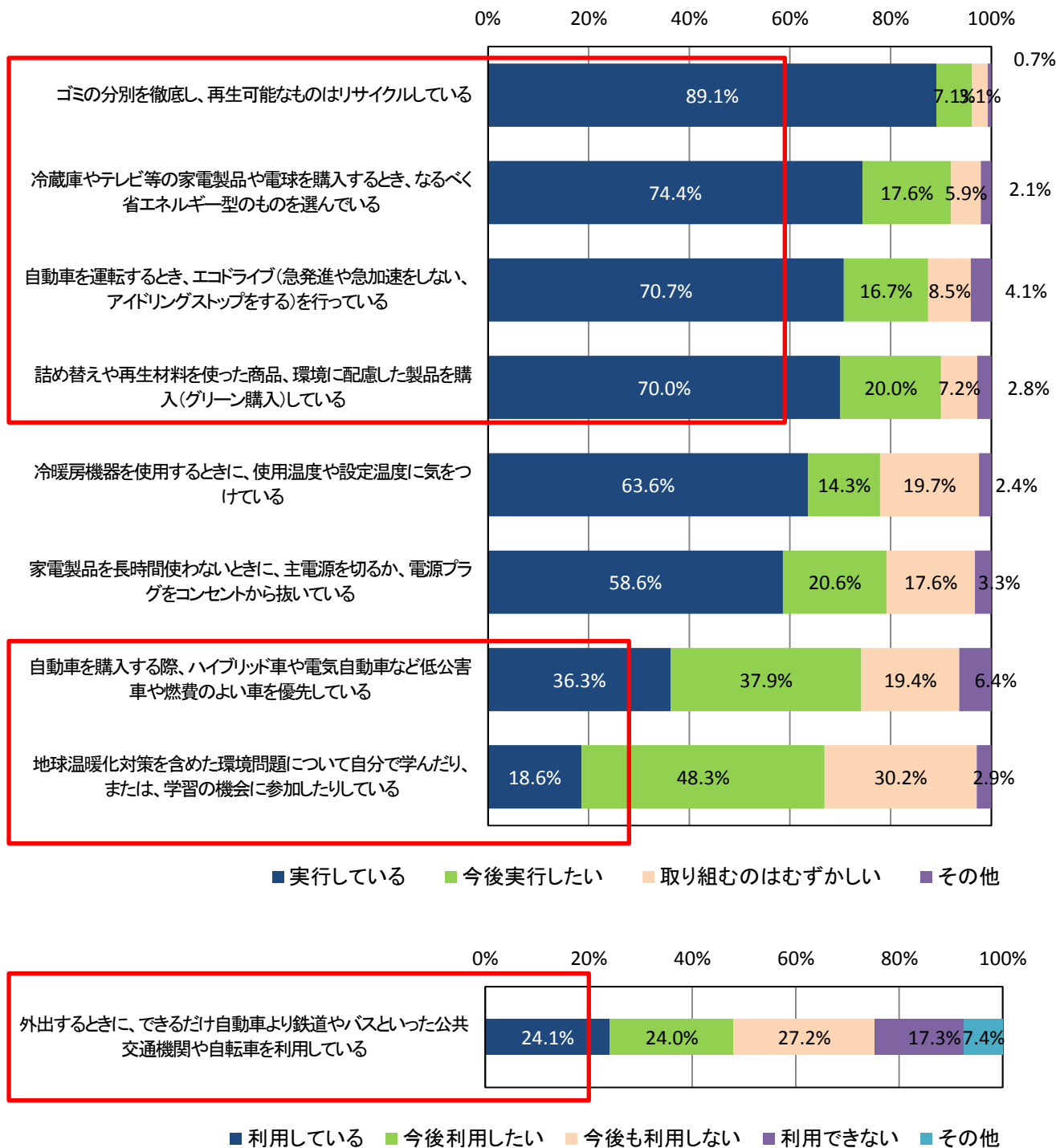


図 家庭での地球温暖化防止の取組実行率

(1) 「実行している」回答率が70%以上の行動

| | 回答率 |
|--|-------|
| ゴミの分別を徹底し、再生可能なものはリサイクルしている | 89.1% |
| 冷蔵庫やテレビ等の家電製品や電球を購入しているとき、なるべく省エネルギー型のものを選んでいく | 74.4% |
| 自動車を運転するとき、エコドライブ（急発進や急加速をしない、アイドリングストップをする）を行っている | 70.7% |
| 詰め替えや再生材料を使った商品、環境に配慮した製品を購入（グリーン購入）している | 70.0% |

(2) 「実行している」回答率が低い行動

| | 回答率 |
|--|-------|
| 地球温暖化対策を含めた環境問題について自分で学んだり、または、学習の機会に参加したりしている | 18.6% |
| 外出するときに、できるだけ自動車より鉄道やバスといった公共交通機関や自転車を利用している | 24.1% |
| 自動車を購入する際、ハイブリッド車や電気自動車など低公害車や燃費のよい車を優先している | 36.3% |
| 家電製品を長時間使わないときに、主電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いている | 58.6% |

(3) 「実行している」、「今後、実行したい」を合計した回答率で70%以上の行動

| | 回答率 |
|--|-------|
| ゴミの分別を徹底し、再生可能なものはリサイクルしている | 96.2% |
| 冷蔵庫やテレビ等の家電製品や電球を購入しているとき、なるべく省エネルギー型のものを選んでいく | 92.0% |
| 自動車を運転するとき、エコドライブ（急発進や急加速をしない、アイドリングストップをする）を行っている | 87.4% |
| 詰め替えや再生材料を使った商品、環境に配慮した製品を購入（グリーン購入）している | 90.0% |
| 家電製品を長時間使わないときに、主電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いている | 79.2% |
| 冷暖房機器を使用するときに、使用温度や設定温度に気をつけている | 77.9% |
| 自動車を購入する際、ハイブリッド車や電気自動車など低公害車や燃費のよい車を優先している | 74.2% |

(4) 「実行している」回答率は低い、「今後実行したい」回答率の高い行動

| | 回答率 |
|--|-------|
| 地球温暖化対策を含めた環境問題について自分で学んだり、または、学習の機会に参加したりしている | 48.3% |
| 自動車を購入する際、ハイブリッド車や電気自動車など低公害車や燃費のよい車を優先している | 37.9% |
| 外出するときに、できるだけ自動車より鉄道やバスといった公共交通機関や自転車を利用している | 24.0% |

(5) 「取り組むのはむずかしい」回答率が高い行動

| | 回答率 |
|--|-------|
| 外出するときに、できるだけ自動車より鉄道やバスといった公共交通機関や自転車を利用している | 44.5% |
| 地球温暖化対策を含めた環境問題について自分で学んだり、または、学習の機会に参加したりしている | 30.2% |
| 冷暖房機器を使用するときに、使用温度や設定温度に気をつけている | 19.7% |
| 自動車を購入する際、ハイブリッド車や電気自動車など低公害車や燃費のよい車を優先している | 19.4% |

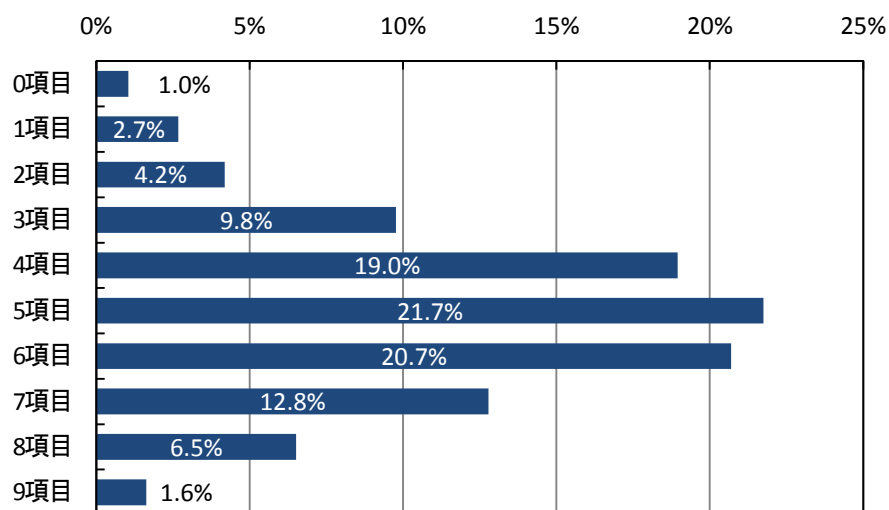
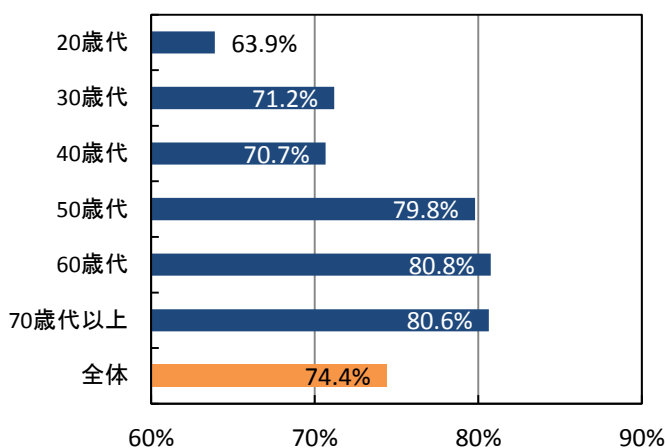


図 家庭での地球温暖化防止の取組項目数

参考. 年代別・家庭における地球温暖化防止の取組状況

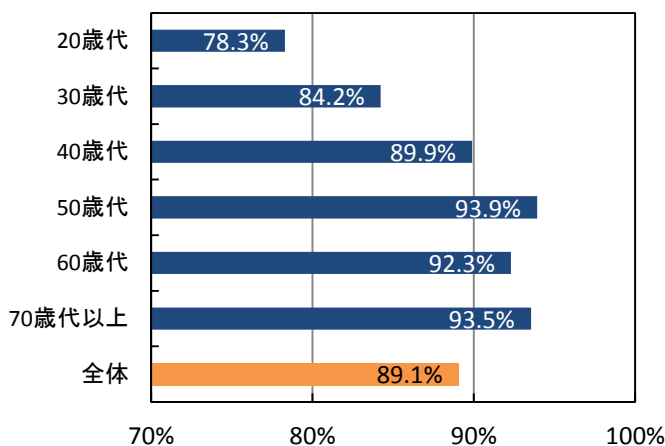
「冷蔵庫やテレビ等の家電製品や電球を購入するとき、なるべく省エネルギー型のものを選んでい
る」と「ゴミの分別を徹底し、再生可能なものはリサイクルしている」については、年代が高いほ
ど、実行率が高い傾向でした（ただし、母数に偏りがあることに留意する必要がある）。

1. あなたは、冷蔵庫やテレビ等の家電製品や電球を購入するとき、なるべく省エネルギー型のも
のを選んでいますか



| | N |
|--------|-----|
| 20歳代 | 53 |
| 30歳代 | 131 |
| 40歳代 | 147 |
| 50歳代 | 158 |
| 60歳代 | 126 |
| 70歳代以上 | 25 |
| 全体 | 640 |

2. あなたは、ゴミの分別を徹底し、再生可能なものはリサイクルしていますか



| | N |
|--------|-----|
| 20歳代 | 65 |
| 30歳代 | 155 |
| 40歳代 | 187 |
| 50歳代 | 186 |
| 60歳代 | 144 |
| 70歳代以上 | 29 |
| 全体 | 766 |

3. 家庭での省エネ・新エネ設備の導入状況

省エネ・新エネ設備の6品目について、一つ以上導入している家庭は、45.3%でした。

「既に導入している」との回答がもっとも多い設備は、省エネタイプの窓ガラス（ペアガラスなど）となっており、次いで「自然（CO2）冷房ヒートポンプ給湯器（エコキュート等）」、太陽光発電の順となっています。

「今後、導入予定または導入をしたい」と回答した人は、56.6%でした。

このうち、回答がもっとも多い設備は、「太陽光発電」となっており、次いで、「省エネタイプの窓ガラス（ペアガラスなど）」、「自然（CO2）冷房ヒートポンプ給湯器（エコキュート等）」の順となっています。

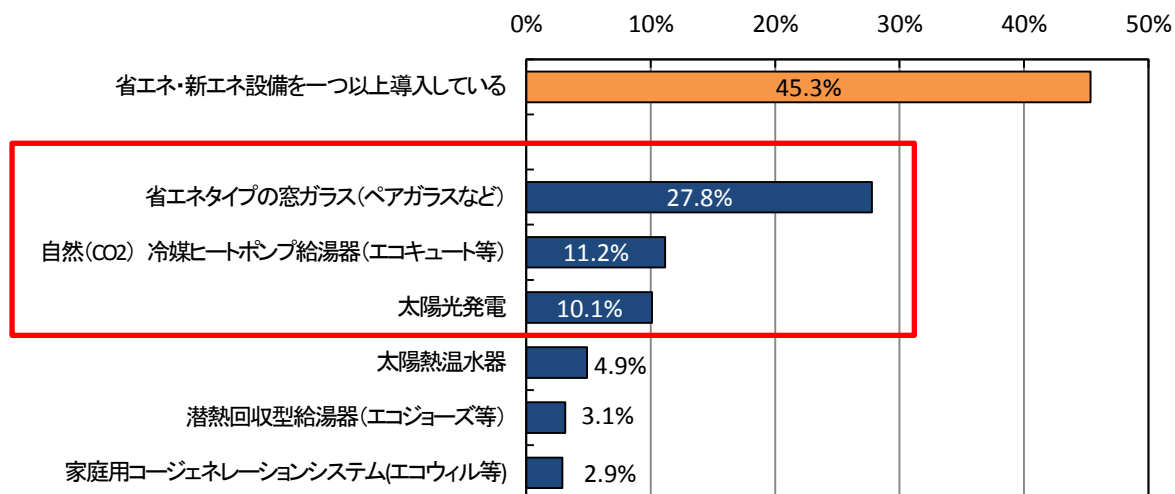


図 家庭での省エネ・新エネ設備の導入率

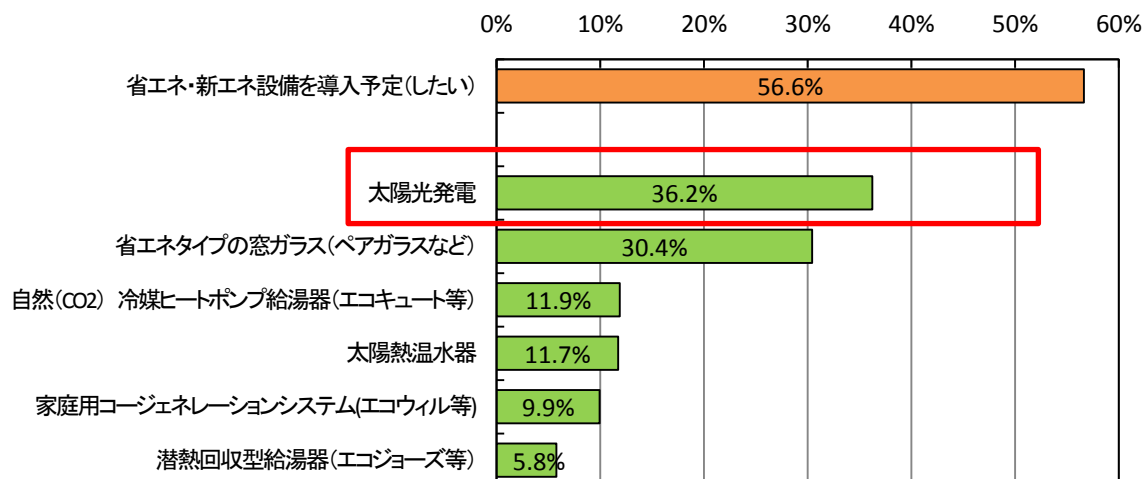


図 家庭での省エネ・新エネ設備の導入予定(導入希望)率

4. 地球温暖化対策に重要と考えられる取組

地球温暖化対策に重要な取組でもっとも多い回答は、「太陽光発電など再生可能エネルギーの利用」となっており、次いで「省エネ機器の導入」、「廃棄物の減量・再使用等（3R）」の順となっています。

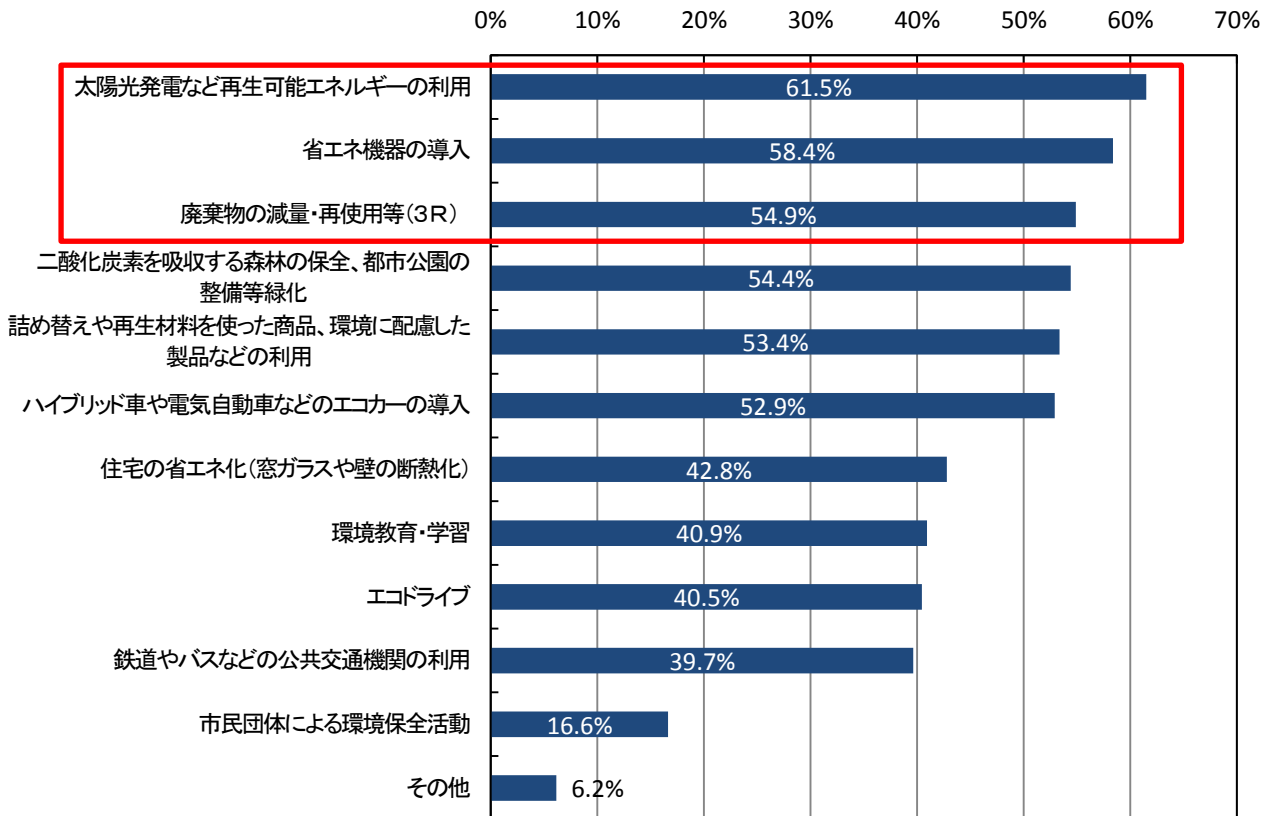
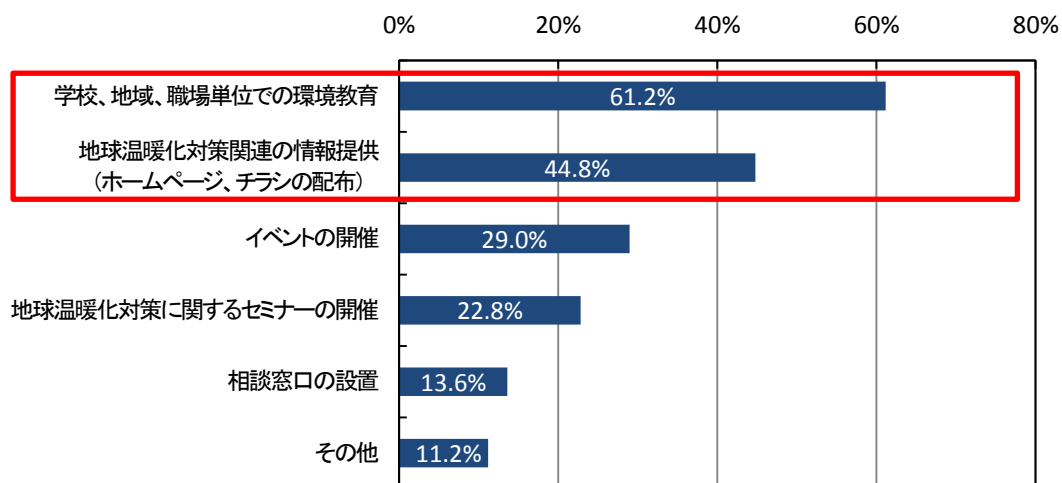


図 地球温暖化対策に重要と考えられる取組

5. 地球温暖化対策を進めるうえで県に期待すること

地球温暖化対策を進めるうえで県に期待する施策でもっとも多い回答は、「学校、地域、職場」単位での環境教育となっており、次いで「地球温暖化対策関連の情報提供（ホームページ、チラシの配布）」の順となっています。その他の意見では、省エネ設備に関する助成についての意見が約36%ありました。



事業者の意識調査実施結果

Ⅲ. アンケートの概要

- (1) 実施期間 平成26年6月16日(月)から7月9日(水)まで
- (2) 対象者 ①地球温暖化対策計画書策定事業者
②「2014 三重県会社要覧(株式会社百五経済研究所)」による無作為抽出
③三重県内各商工会による無作為抽出
※①～③を県内地域別事業所数に均等になるように抽出
- (3) 対象者数 県内1,000事業所
- (4) 回答者数 607事業所
- (5) 回答率 60.7%
- (6) 回答者属性

①業種別

| | |
|-------------------|-----|
| 農業、林業 | 4 |
| 漁業 | 1 |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 2 |
| 建設業 | 61 |
| 製造業 | 316 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12 |
| 情報通信業 | 5 |
| 運輸業・郵便業 | 24 |
| 卸売・小売業 | 83 |
| 金融業・保険業 | 2 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 8 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 7 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 20 |
| 生活関連サービス業 | 9 |
| 教育、学習支援業 | 3 |
| 医療、福祉 | 6 |
| 複合サービス業 | 6 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 27 |
| 分類不能の産業 | 4 |
| 無回答 | 7 |
| 合計 | 607 |

②従業員規模別

| | |
|----------|-----|
| 1～99名 | 412 |
| 100～299名 | 117 |
| 300名以上 | 69 |
| 無回答 | 9 |
| 合計 | 607 |

IV. アンケート結果

1. 地球温暖化問題に対する意識

地球温暖化問題について、85.4%の事業所が「非常に興味がある」「興味がある」と回答しており、関心が高いことが伺えます。

事業活動をするうえで、地球温暖化の防止についてどのように考えるかにおいては、「省エネなど、事業活動にもメリットがある範囲で取り組みたい」という回答が、55.7%と最も多く、次いで「事業者の社会的責任（CSR）として、積極的に取り組みたい」の回答が多い結果となりました。

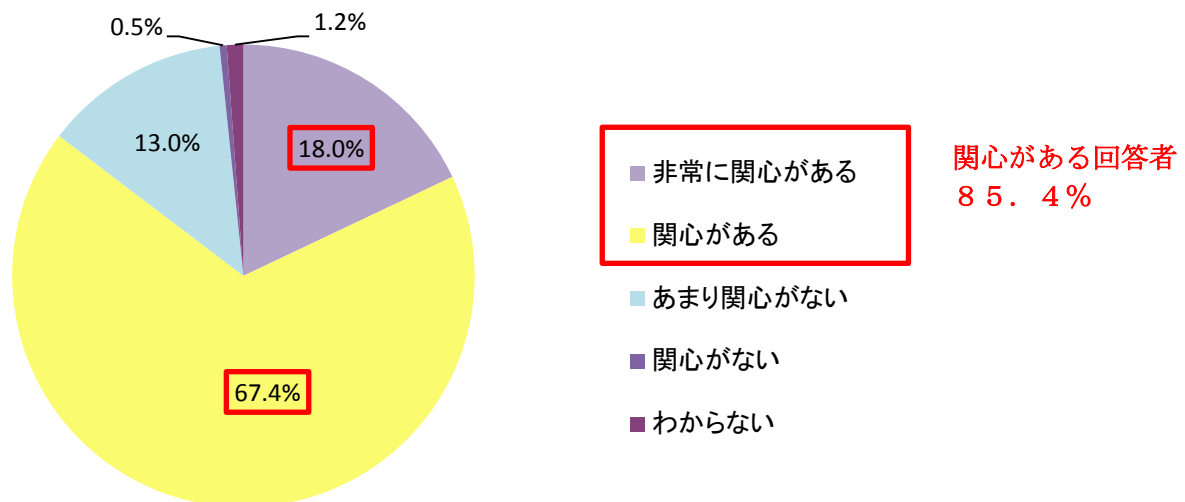


図 地球温暖化問題への関心

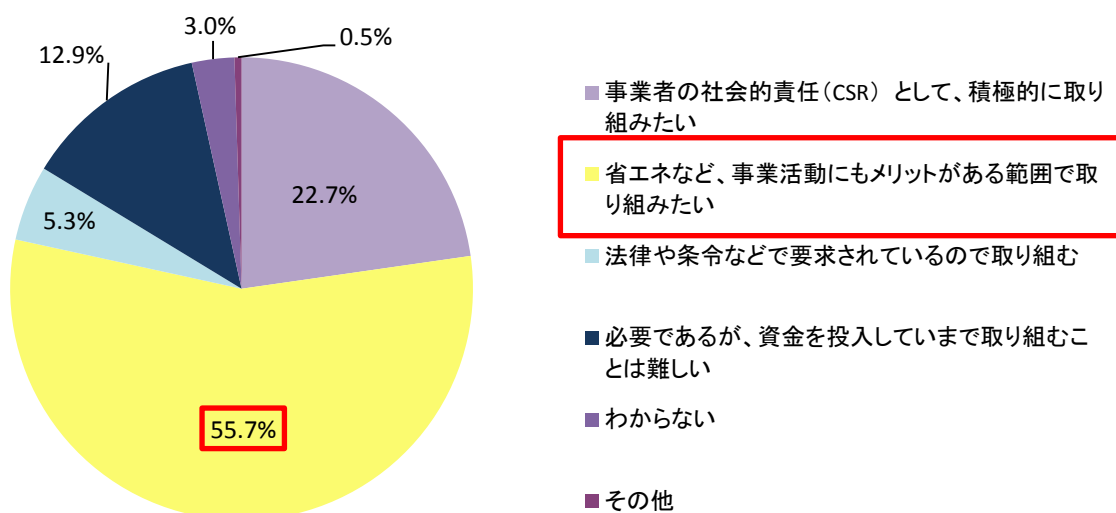


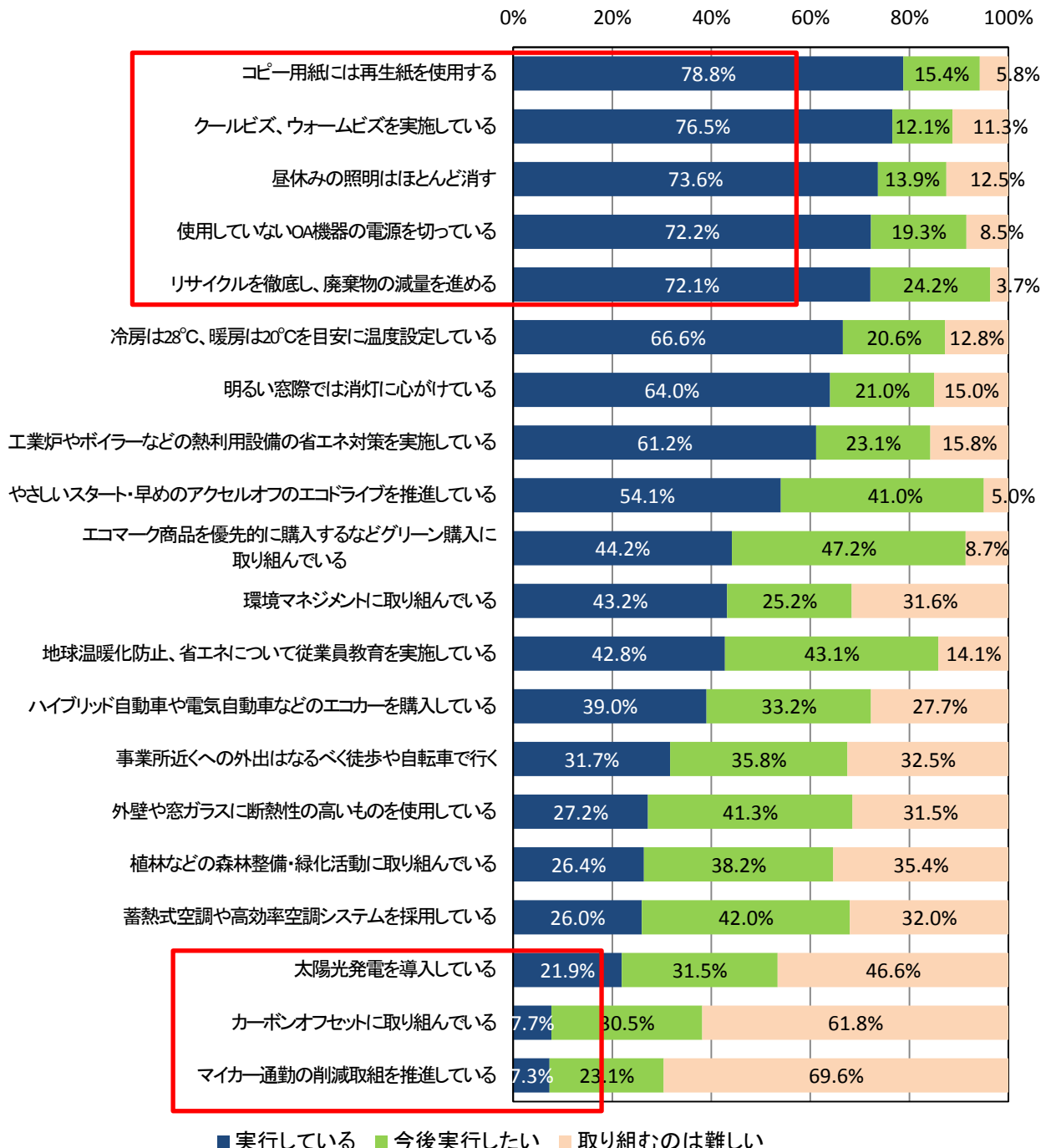
図 事業活動と地球温暖化防止の取組意識

2. 事業者における地球温暖化防止の取組状況

地球温暖化防止の取組状況については、70%以上実行している項目数が、全20項目のうち、5項目ありました。

「実行している」と「今後実行したい」を合計した回答率では、13項目が70%以上の結果となり、地球温暖化防止のために、取り組まなければならない意識が高いと伺えます。

一事業所あたりの地球温暖化防止取組件数は、6項目（全数は18項目で）がもっとも多い結果でした。



カーボンオフセット

自らの温室効果ガス量を算定し、それを減らす努力をすること、更に、温室効果ガスの削減や吸収を行う別の活動を応援することで、間接的により多くの温室効果ガスの削減や吸収をすることです。

図 事業者の地球温暖化防止の取組実行率

(1) 「実行している」回答率 上位5項目

| | 回答率 |
|----------------------|-------|
| コピー用紙には再生紙を使用する | 78.7% |
| クールビズ、ウォームビズを実施している | 76.5% |
| 昼休みの照明はほとんど消す | 73.6% |
| 使用していないOA機器の電源を切っている | 72.2% |
| リサイクルを徹底し、廃棄物の減量を進める | 72.1% |

(2) 「実行している」回答率が低い行動 上位5項目

| | 回答率 |
|------------------------|-------|
| マイカー通勤の削減取組を推進している | 7.3% |
| カーボンオフセットに取り組んでいる | 7.7% |
| 太陽光発電を導入している | 21.9% |
| 蓄熱式空調や高効率空調システムを採用している | 26.0% |
| 植林などの森林整備・緑化活動に取り組んでいる | 26.4% |

(3) 「実行している」回答率は低いが、「今後実行したい」回答率の高い行動 上位5項目

| | 回答率 |
|----------------------------------|-------|
| エコマーク商品を優先的に購入するなどグリーン購入に取り組んでいる | 47.2% |
| 地球温暖化防止、省エネについて従業員教育を実施している | 43.2% |
| 蓄熱式空調や高効率空調システムを採用している | 42.1% |
| 外壁や窓ガラスに断熱性の高いものを使用している | 41.4% |
| やさしいスタート・早めのアクセルオフのエコドライブを推進している | 41.0% |

(4) 「取り組むのはむずかしい」回答率が高い行動 上位5項目

| | 回答率 |
|-------------------------|-------|
| マイカー通勤の削減取組を推進している | 69.6% |
| カーボンオフセットに取り組んでいる | 61.7% |
| 太陽光発電を導入している | 46.5% |
| 植林などの森林整備・緑化活動に取り組んでいる | 35.5% |
| 事業所近くへの外出はなるべく徒歩や自転車で行く | 32.6% |

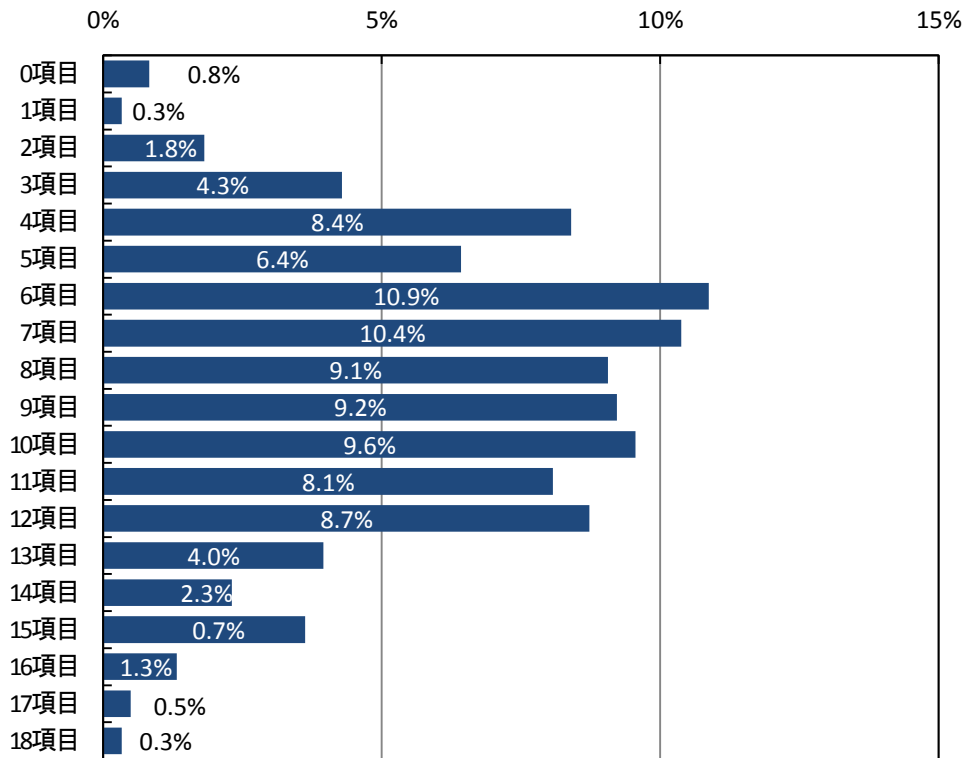


図 事業者の地球温暖化防止の取組項目数

※「蓄熱式空調や高効率空調システムを採用している」、「工業炉やボイラーなどの熱利用設備の省エネ対策を実施している」の項目は除外している

3. 地球温暖化対策に重要と考えられる取組

地球温暖化対策に重要な取組でもっとも多い回答は、「省エネ機器の導入」となっており、次いで、「太陽光発電など再生可能エネルギーの利用」、「廃棄物の減量・再使用等（3R）」の順となっています。

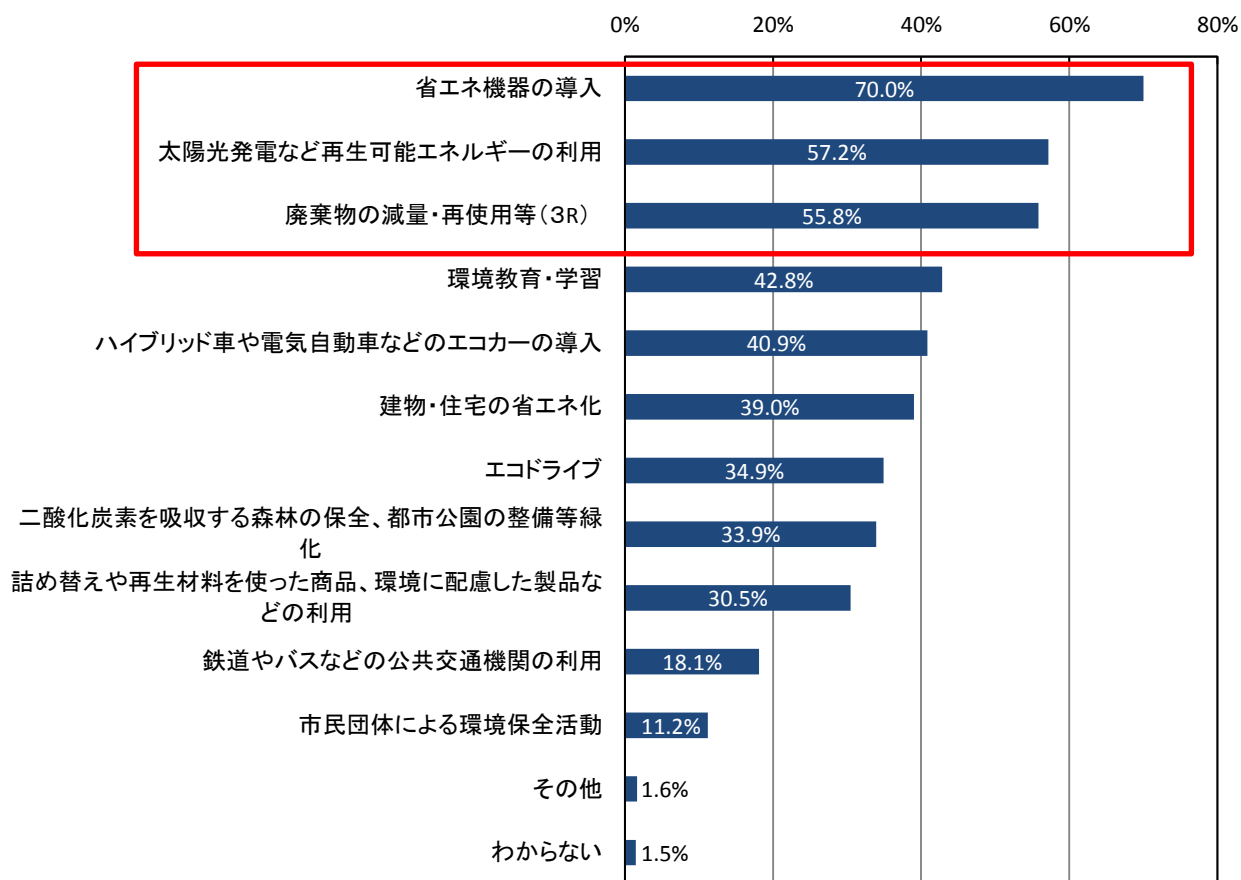


図 地球温暖化対策に重要と考えられる取組

4. 地球温暖化対策の取組課題

地球温暖化対策に取組うえでの課題でもっとも多い回答は、「省エネ機器、設備改善技術の導入に係る初期コストが高い」となっており、次いで、「ランニングコスト（燃料、維持管理含む）が高い」、「地球温暖化対策にまで手がまわらない状態である」の順となっています。

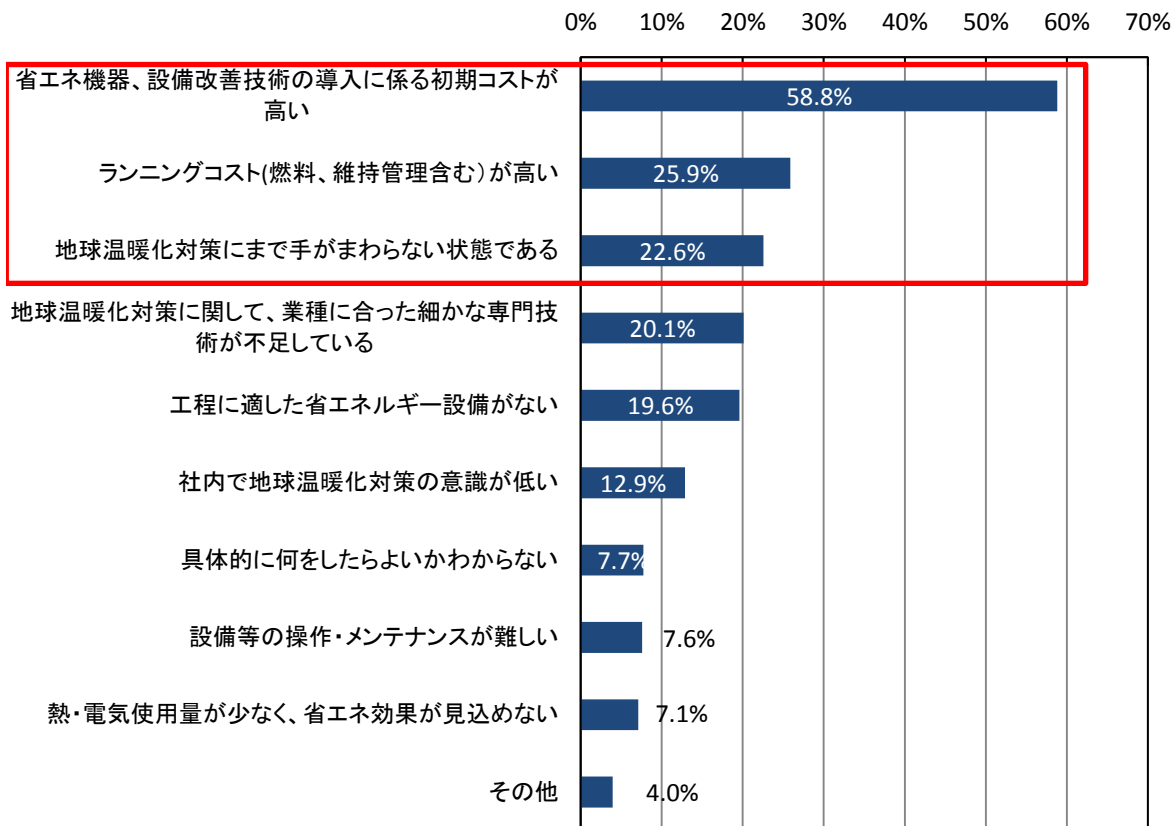


図 地球温暖化対策の取組課題

5. 地球温暖化対策を進めるうえで県に期待すること

地球温暖化対策を進めるうえで県に期待する施策でもっとも多い回答は、「省エネ設備・機器導入への支援」となっており、次いで「地球温暖化対策関連の情報提供」、「地球温暖化対策に関するセミナーの開催」の順となっています。

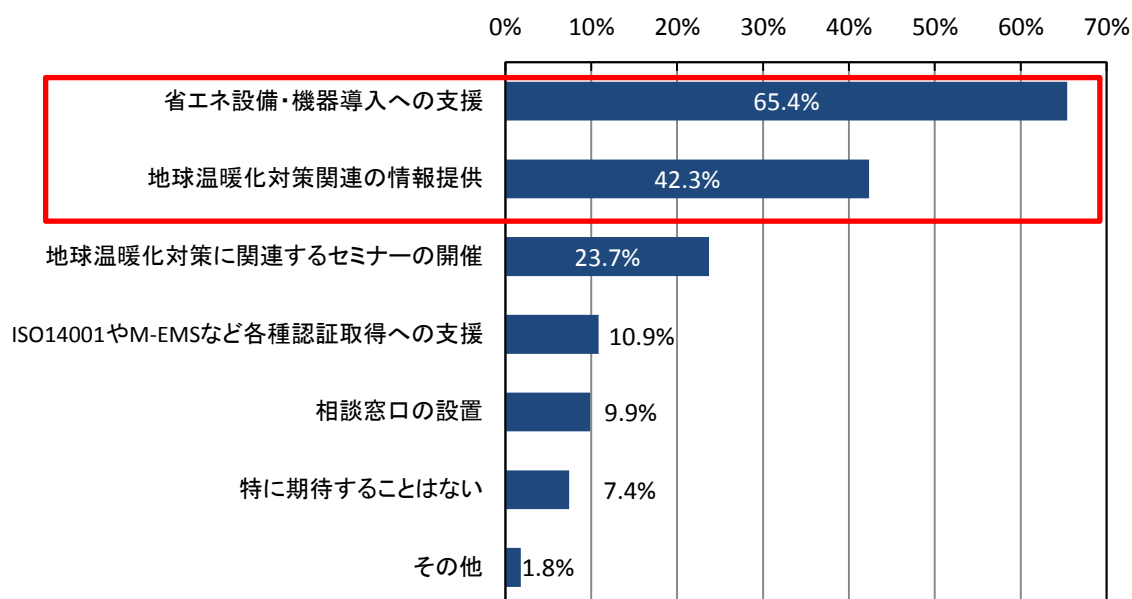
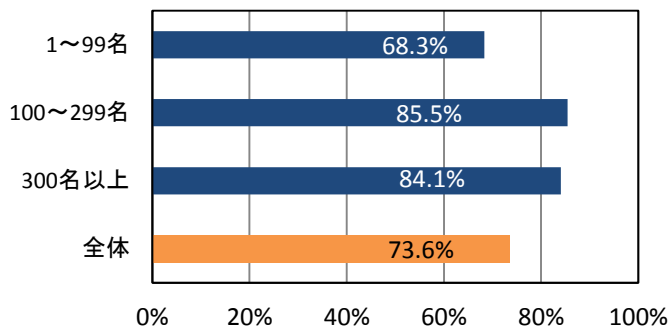


図 地球温暖化対策を進めるうえで県に期待すること

参考 1. 事業者・規模別 地球温暖化防止の取組状況

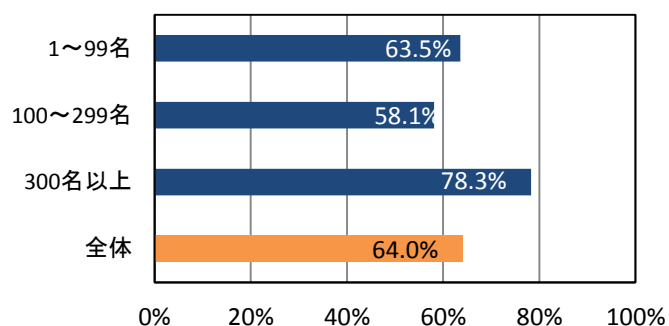
従業員規模が大きいほど、地球温暖化防止の取組の実行率が高い傾向になっています。例えば、取組実行率が70%以上の項目数を従業員数別で見ると「1～99名」で2項目、「100～299名」で6項目、「300名以上」で11項目となります。

1 昼休みの照明はほとんど消す



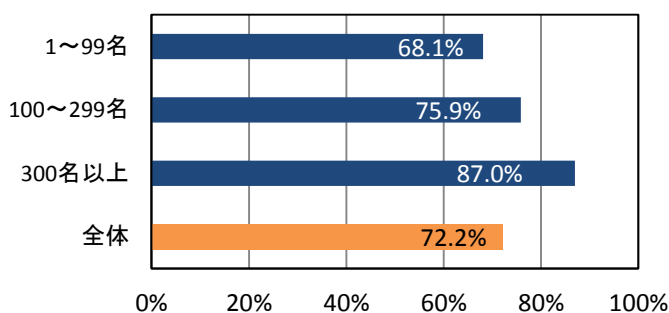
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 276 |
| 100～299名 | 100 |
| 300名以上 | 58 |
| 全体 | 441 |

2 明るい窓際では消灯に心がけている



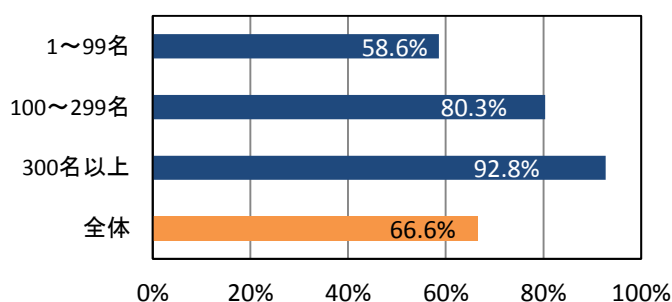
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 258 |
| 100～299名 | 68 |
| 300名以上 | 54 |
| 全体 | 384 |

3 使用していないOA機器の電源を切っている



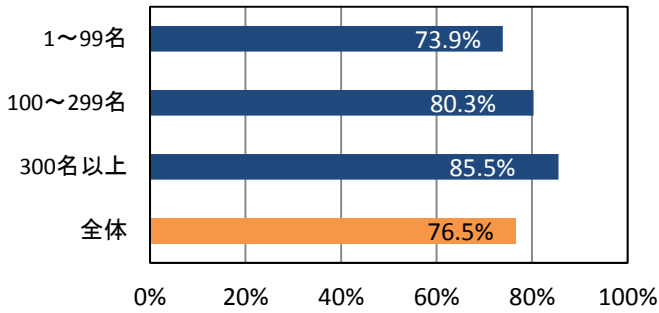
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 277 |
| 100～299名 | 88 |
| 300名以上 | 60 |
| 全体 | 434 |

4 冷房は28℃、暖房は20℃を目安に温度設定している



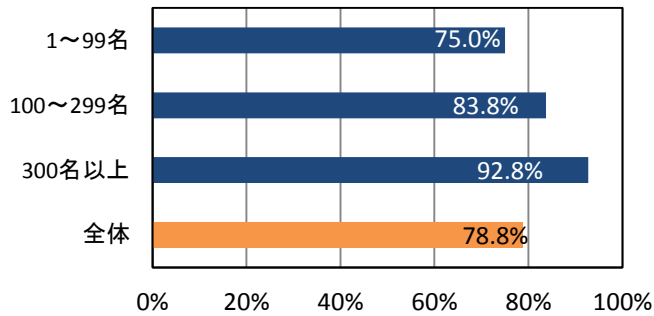
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 238 |
| 100～299名 | 94 |
| 300名以上 | 64 |
| 全体 | 400 |

5 クールビズ、ウォームビズを実施している



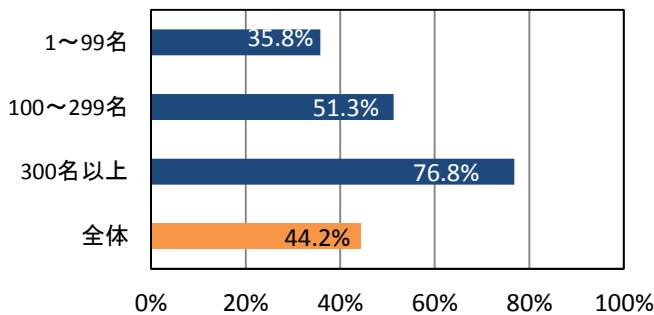
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 300 |
| 100~299名 | 94 |
| 300名以上 | 59 |
| 全体 | 460 |

6 コピー用紙には再生紙を使用する



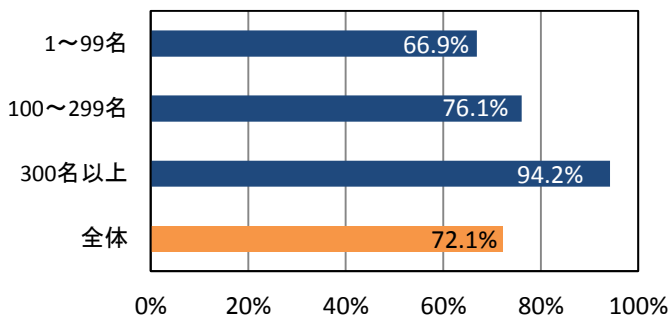
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 306 |
| 100~299名 | 98 |
| 300名以上 | 64 |
| 全体 | 475 |

7 エコマーク商品を優先的に購入するなどグリーン購入に取り組んでいる



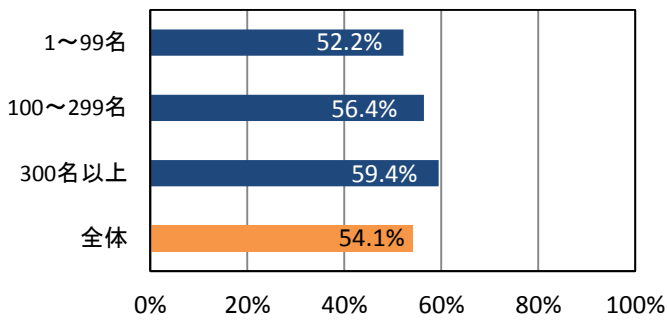
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 145 |
| 100~299名 | 60 |
| 300名以上 | 53 |
| 全体 | 265 |

8 リサイクルを徹底し、廃棄物の減量を進める



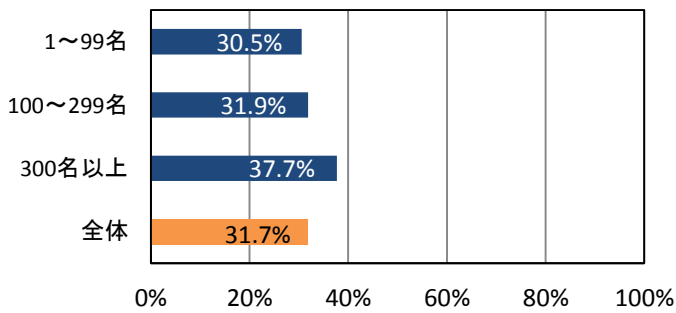
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 271 |
| 100~299名 | 89 |
| 300名以上 | 65 |
| 全体 | 432 |

9 やさしいスタート・早めのアクセルオフのエコドライブを推進している



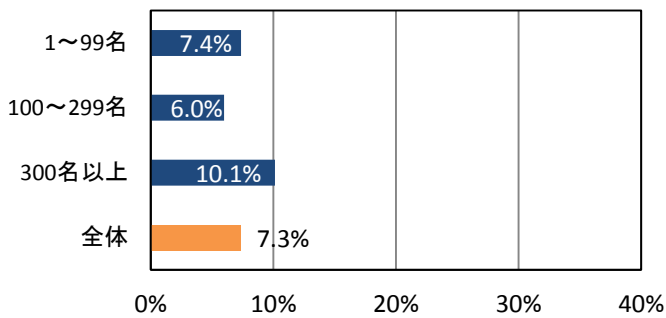
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 213 |
| 100~299名 | 66 |
| 300名以上 | 41 |
| 全体 | 326 |

10 事業所近くへの外出はなるべく徒歩や自転車で行く



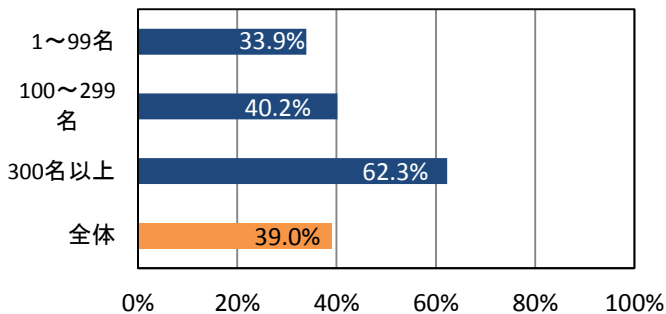
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 124 |
| 100~299名 | 37 |
| 300名以上 | 26 |
| 全体 | 190 |

11 マイカー通勤の削減取組を推進している



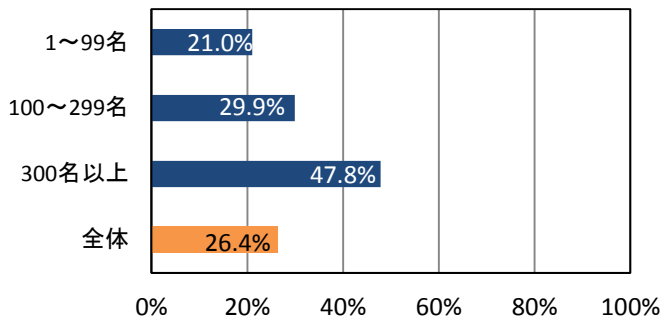
| | N |
|----------|----|
| 1~99名 | 30 |
| 100~299名 | 7 |
| 300名以上 | 7 |
| 全体 | 44 |

12 ハイブリッド自動車や電気自動車などのエコカーを購入している



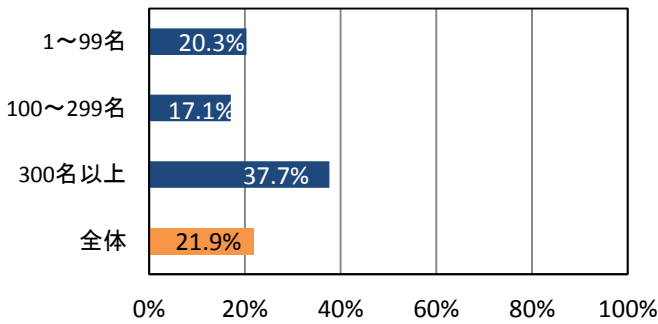
| | N |
|----------|-----|
| 1~99名 | 138 |
| 100~299名 | 47 |
| 300名以上 | 43 |
| 全体 | 235 |

1.3 植林などの森林整備・緑化活動に取り組んでいる



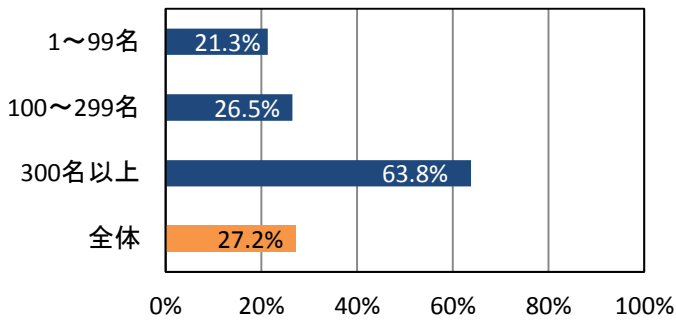
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 85 |
| 100～299名 | 35 |
| 300名以上 | 33 |
| 全体 | 158 |

1.4 太陽光発電を導入している



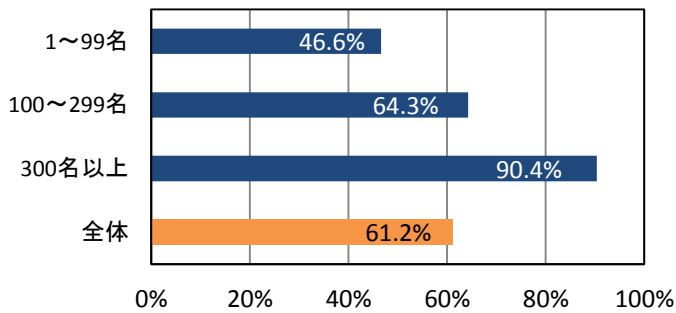
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 83 |
| 100～299名 | 20 |
| 300名以上 | 26 |
| 全体 | 132 |

1.5 外壁や窓ガラスに断熱性の高いものを使用している



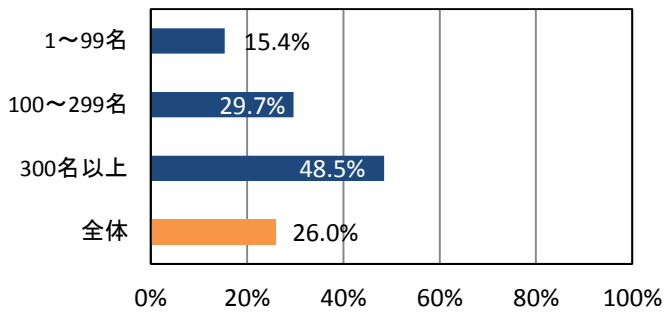
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 87 |
| 100～299名 | 31 |
| 300名以上 | 44 |
| 全体 | 164 |

1.6 工業炉やボイラーなどの熱利用設備の省エネ対策を実施している



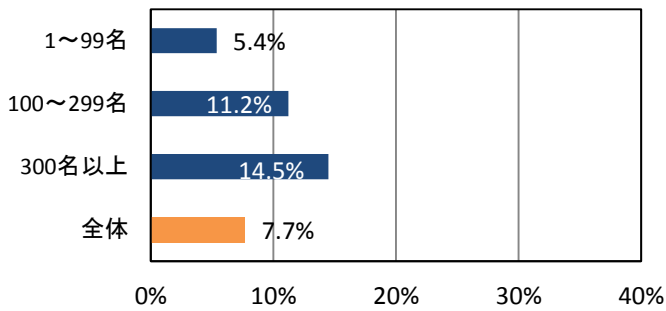
| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 62 |
| 100～299名 | 45 |
| 300名以上 | 47 |
| 全体 | 159 |

1.7 蓄熱式空調や高効率空調システムを採用している



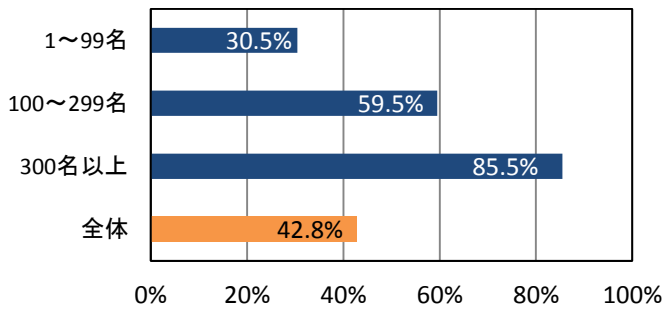
| | N |
|----------|----|
| 1～99名 | 26 |
| 100～299名 | 27 |
| 300名以上 | 32 |
| 全体 | 86 |

1.8 カーボンオフセットに取り組んでいる



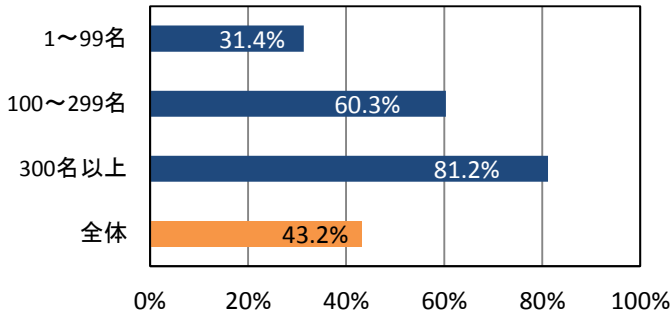
| | N |
|----------|----|
| 1～99名 | 21 |
| 100～299名 | 13 |
| 300名以上 | 10 |
| 全体 | 45 |

1.9 地球温暖化防止、省エネについての従業員教育を実施している



| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 120 |
| 100～299名 | 69 |
| 300名以上 | 59 |
| 全体 | 251 |

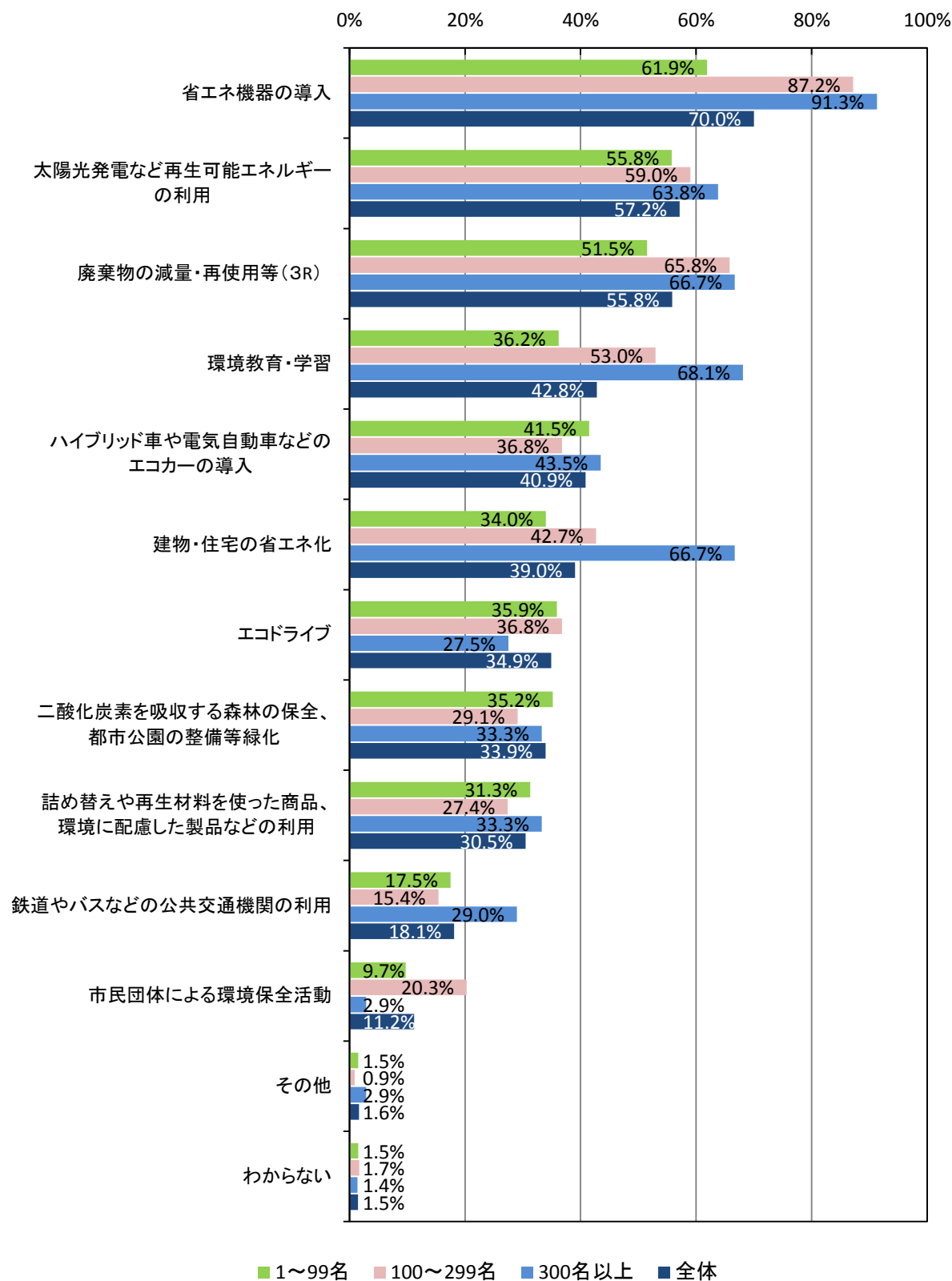
2.0 環境マネジメントに取り組んでいる



| | N |
|----------|-----|
| 1～99名 | 124 |
| 100～299名 | 70 |
| 300名以上 | 56 |
| 全体 | 254 |

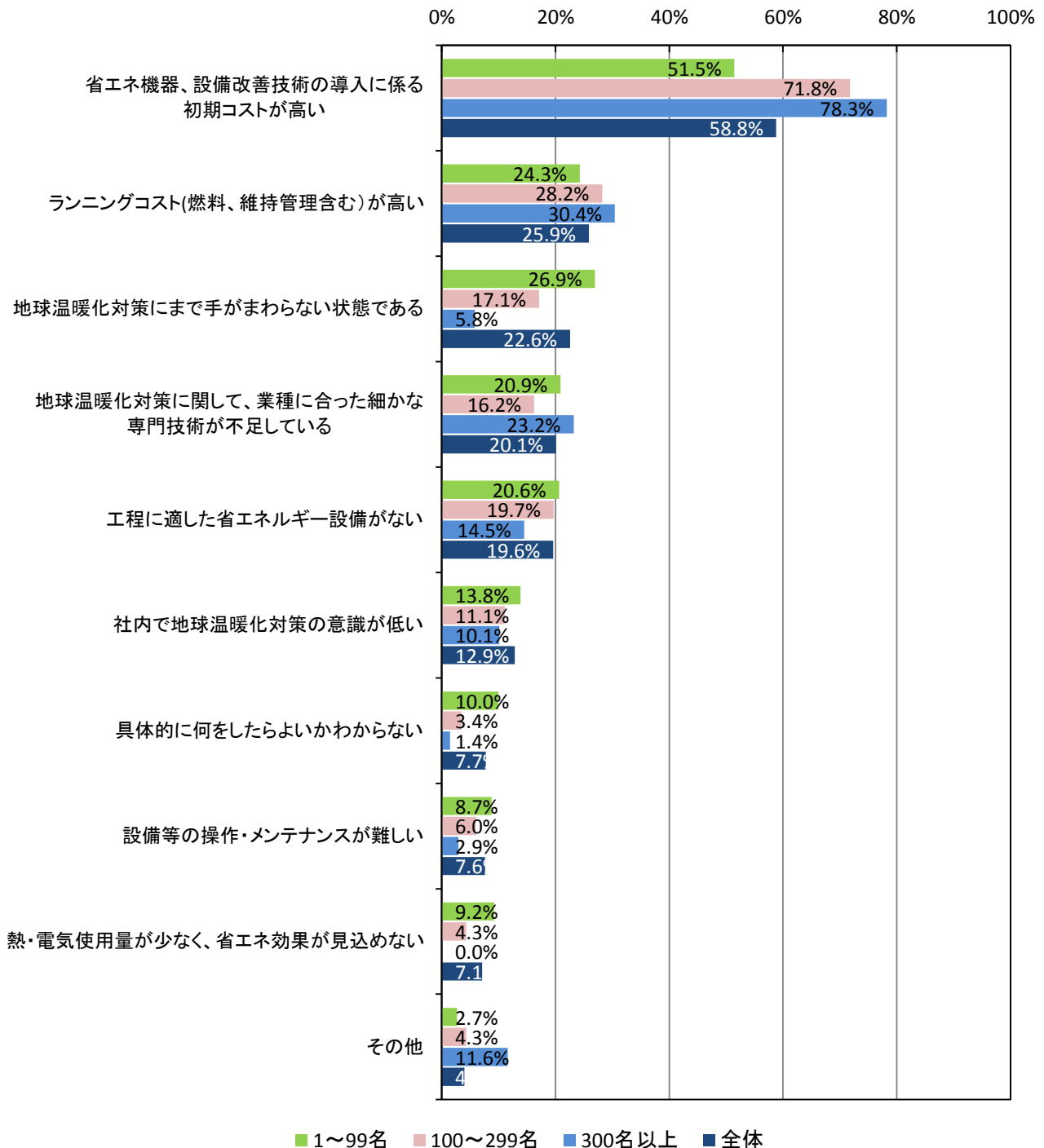
参考2. 事業者・規模別 地球温暖化対策に重要と考えられる取組

もっとも回答が多い「省エネ機器の導入」では、従業員規模が大きいほどその回答が高い傾向になっています。また、「環境教育・学習」、「建物・住宅の省エネ化」についても従業員規模が大きいほど高い傾向になっています。



参考3. 事業者・規模別 地球温暖化対策の取組課題

もっとも回答が多い「省エネ機器、設備改善技術の導入に係る初期コストが高い」では、従業員規模が大きいほどその回答が高い傾向になっています。また、従業員規模が小さいほど「地球温暖化対策にまで手がまわらない状態である」、「具体的に何をしたらよいかわからない」などの回答が高い傾向にあります。



参考4. 事業者・規模別 地球温暖化対策を進めるうえで県に期待すること

